

あっ! そうだ

魔法のパワーは静電気!?

社会福祉法人謝徳会 るんびに一保育園（愛知県岡崎市）[5歳児]

<事前の様子> 給食でデザートのスプーンを取り出した時のA児の言葉「先生見て!マジックだよ!スプーンの袋が付いたよ!」をきっかけに、袋が体の様々な部分に付く不思議さが面白くて繰り返し楽しんでいる。

B児「あれっ?私付かない、落ちちゃうよ」
A児「Dちゃん、もう一回擦ればいいんだよ」
B児「あっ、本当だ!ひつついた。Aちゃん、
どうしてできるのかね?」
A児「それはパワーが出るからだよ」

まだ、何故付くのかはわからず、魔法の力に引き込まれて、足や頭など体の様々な場所に付けて、落ちないことを楽しむ遊びが広がっていった。髪の毛に付いた物が、服には付かないこともあったが、A児の言葉から、“擦るとひつつく”という不思議な体験をした。子どもたちは「どうしてひつつくの?」「このパワー何?」という疑問をもった。

	子どもの行動・意識	子=子どもたち 保=保育者	読み取り
不思議な力を感じる	<p>魔法のパワーは静電気? E児「先生、ビニール紐が手に付いて離れないよ」 子「それって魔法のパワーだよね?」 C児「僕も指にからまっちゃったよ」 保「どうしてひつついて来るんだろうね?」 D児「僕知っているよ。そのパワーって静電気って言うんだよ」 保「静電気って言うの?みんなは知ってる?」 子「う〜ん、聞いたことはある」 E児「Dくん、静電気って、あの天井の電気と一緒に?」 D児「う〜ん、たぶんそうだと思う。確か、電気と電気がぶつかるとできるってお父さんが言っていたよ」 G児「えっ、違うよ。この紐の中に静電気が入ってるんだよ」 H児「静電気が入ってるの?」 子「紐の中を見てみようよ」 <身近な経験を話し合ったり、絵本を読んだりして、静電気を体験する。></p>		<p>* 製作時に、ビニール紐を裂く時に起こる静電気で指先にビニール紐がからまり、なかなか上手く折り紙に付けられず困る。</p>  <p>* 静電気の面白さを体験し、見えないけど“ある”ことを共感する。</p>
遊びの中で感じる	<p>静電気を知ろう、感じよう ・テレビでパチパチしている ・パンパン風船とフニャフニャ風船は違う I児「私も風船貸して」 J児「こっちの風船、使っていないよ」少し空気が抜けている風船を貸す。 I児「じゃあ、それ使うね」「私もやってみる」 J児「あれ、私の全然ないよ。いっぱい擦ったのに」 I児「えっ、私の10点だよ」 J児「何でかな?私の風船、ちょっとしぼんでるからかな?」 I児「私ののは、パンパンだもんね」 ・発砲スチロールで遊ぼう</p>		<p>* テレビや風船に顔を近づけると静電気を感じたり髪の毛が反応したりすることに気付き、話題にしてその感覚を共有する。 * 空気の詰まっている風船は、静電気が沢山起き、少し空気が抜けている風船からあまり静電気が起きない。「何でだろう?」と考え、調べる。凶鑑で調べても、保育者が調べてもわからなかった。</p>
探求する中で感じる	<p>L児「前はこのスプーンの袋がひつついたのに、全然ひつつかない」 F児「うん、そうそう。ひつつかないよ」 保「何でかな?」 L児「パワーが弱まったかな」 F児「静電気、どこいった?」 L児「本当だ!静電気が逃げちゃったよ」 F児「静電気を探そう」 L児「よし!探そう。場所を変えてみよう。どこにする?」 F児「ロッカーの下なんてどう?」 K児「ここにもないよ」 F児「椅子の下はどう?」 L児「う〜ん、やっぱりないなあ」 K児「どこにもないよ」 F児「どうしてだろう?」 L児「凶鑑で調べてみようよ」 F児、K児「そうだね!」 ・部屋の凶鑑で調べると、静電気は湿度や気温が関係することを知る。しかし、始めは湿度という言葉がわからない。 保「空気の中に入ってる水の量だよ」 子「じゃあさ、雨の日にベトベトするのって、水のせい?」</p>		<p>* 6〜7月（湿度や汗で）静電気の力が弱まった変化を感じ、“静電気がどこかに逃げた”と考えた。そこで保育室、廊下などで風船やビニール紐などを擦り合わせて探し始めた。 * わからないので調べると、静電気は湿度や気温が関係することを知る。</p>



<その後>

・ベトベトする感覚はわかり、部屋にある温湿度計で友達同士、数字を確かめる姿が見られる。

ポイント

静電気により「付く・付かない」という感覚を楽しむ遊びの中で、予想との違いや付き方の違いを感じ取り、気付いたことを試したり疑問をもったりしています。「感じた不思議な力」が静電気だとわかって、その不思議さを遊びに取り入れることで探求活動に展開し、科学する心が育まれるやりとりや行動が引き出されています。